



170

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2023年8月6日号

編集 / 毎日新聞社カスタマーリレーション本部



迫る

森に潜んだ裸足の少女の物語

6日(日)=1、3面

イスラエルで留學生活を送っていた記者は、ある日、女性の自伝をもらいました。読み始めると夢中になり、記者はこの女性から話を聞きたいという思いがあふれました。

女性の名は、ユダヤ人のトバ・ベラフスキーさん(93) =写真。10代の

時、当時はポーランド領だった村で暮らしていました。比較的平穩だった生活は、1941年にナチス・ドイツが進駐してきたことで激変しました。強制連行から逃れるために、トバさん一家は森の中で3年に及ぶ凄絶な日々を過ごしたのです。

戦後も、心はまだ戦争の中にいたトバさんは、体験を書き留める決心をしました。そこには、戦争中の過酷な経験だけではなく、希望を抱いていた少女の心境がつつられていました。トバさんの人生に迫ります。



広島と長崎の平和式典

6日(日)=総合面

米軍が広島と長崎に原爆を投下してこの夏で78年になります。今年も広島は6日、長崎は9日に、犠牲になった人々を追悼し、核廃絶と平和への誓いを国内外に発信する厳粛な式典が営まれます。

広島と長崎の式典に違いはあるのか、いつ

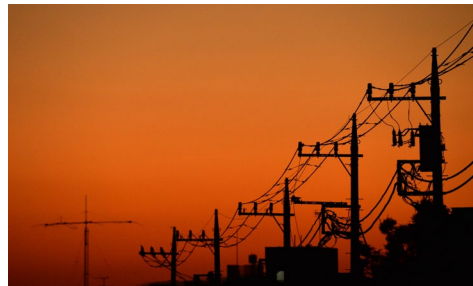
からどんな形で行われているのか。また、中止したことはあるのか、平和宣言は誰が作るのか。そして、世界の情勢に応じて式典はどのように変化してきたのか。

年表や写真を交えて分かりやすくお伝えします。



昨年の広島での平和式典の様子

電力を無駄にしないために、広範囲に電気を融通できる送電網の強化が求められている



無駄になる再生エネルギー

8日(火) 3面

温室効果ガスの排出削減を目的に、太陽光や風力などの再生可能エネルギー発電が急拡大しています。太陽光発電の普及が進む九州では、太陽光の電力が使い切れず、一時的に発電を停止する

「出力抑制」が増加。今年3月5月には、原発5基分に相当する500万キロワット超を抑制した日が計9日間もありました。再生エネをできるだけ活用するにはどうすればいいのか、専門家とともに考えました。

特集 **ワイド**

プチ鹿島さんの岸田首相評

7日(月)=夕刊2面

岸田文雄内閣の支持率が下げ止まりません。身内びいき、マイナンバーのトラブル……世論の不満は、どこにあるのでしょうか。

新聞14紙を読み比べている時事芸人のプチ

鹿島さん=写真=は、政権発足当初は「風船おじさん内閣」と命名していましたが、今は「先送りおじさん内閣」に改名したと言います。その理由を聞きました。



編集後記

毎日新聞社主催の美術展で、毎日ID会員限定割引チケットの販売を開始しました。今春に東京で開催された「重要文化財の秘密」に続き、北九州市立美術館で開催中の複数の美術展でも販売。今後も拡大します。毎日新聞デジタルの会員資格だった毎日IDを、様々なサービスやコンテンツを利用する際の入り口へ。多くのお客様とつながりながら、生活に多面的に役立つ価値をお届けしていきます。ご期待ください。(立花健一)

毎日新聞